

# 端末の持ち帰りが進むと学びはどう変わるの？①

宗像市立河東西小学校

宗像市立の小中学校では9月中に端末の持ち帰りをできるようにし、子どもの学びが学校と家庭でこれまで以上にしっかりとつながり、より効果的に学ぶことができるように準備を進めています。

ICTの特長として、環境が整っていれば、時間や場所を選ばずに人と人がつながることができます。例えば、今のような感染へのリスクが心配される場合にも、離れた場所から学習に参加することもできるようになります。

学校と家庭での学びをICTでつないでいくためには…

## 機器

- 家庭で使用する環境を整える
- 子どもが使用できる端末(ICT機器)
- ネットワーク環境



## 学校

- 家庭でも学習できる学習の仕方を整える
- 普段の家庭学習が変わります
- 全員がオンラインで参加する場合や、教室での授業とオンラインを併用する場合などに応じた学習の方法を整える



## 子ども

- 自分で使えるスキルを身に付ける
- 基本的な操作ができること
- 使い慣れること



### 機器などの環境を整える

#### ① 端末が必要です

- ・ ご家庭にある端末でも、お子さんのGoogleアカウントにログインすると、ロイロノートなど学校で使っているアプリケーションを使うことができます。
- ・ 8月27日(金)に配付した届けを提出いただくと、学校で使っているクロムブックを持ち帰って使用することができます。

#### ② ネットワーク環境が必要です

- ・ 学校のタブレット端末を、ご家庭のWi-Fiに接続して使用することができます。
- ※ 学校のタブレットは、Wi-Fiなどインターネットに接続しないとほとんどのアプリは使用できません。
- ※ ご家庭にWi-Fiの環境がない場合は、宗像市がルーターを貸与します。貸与を希望される場合は、必要書類をご提出ください。

学習の仕方については、宗像市から端末持ち帰りの方針が示されましたので、現在、学年等に  
応じた学習の仕方について準備を進めています。

これまででもホームページや学校通信等でご紹介していますように、本校の子どもたちは、4月  
からICT機器を活用した学習をしっかりと積み重ねています。また、使い方についても、子ども  
自身が考え責任を持った使い手となれるよう学習の経験を積み重ねています。

持ち帰りの環境が整い、希望されるご家庭から、端末を持ち帰っていただき、家庭で端末を  
使って学習するなど多様な学び方を選択できるように取組を進めていきます。また、9月以降は  
端末持ち帰りを前提とした家庭学習へと移行していきます。大切にしたいのは、子ども一人一人  
が、自分にあった方法でしっかり、自ら学ぶことができるようにすることです。

試行錯誤しながらの取組となります。取組を進めながら、併せて改善を進めていきます。ご協  
力お願い致します。